

事業報告書

| | |
|-----------------|---|
| 1 支援団体名 | 九州建設技術フォーラム実行委員会 |
| 2 事業名称 | 九州建設技術フォーラム2018 |
| 3 実施日時 | 平成30年10月9日～10日 |
| 4 実施場所 | 福岡国際会議場 |
| 5 事業目的、内容及びその効果 | <p>(事業目的、内容)</p> <p>新技術の開発／活用／普及における産学官の連携を促進するために必要な情報交換を行うことを目的に、福岡県下において開催しました。今年度のテーマは、「変わらない品質を、これから先も。」で。</p> <p>基調講演：「インフラメンテナンスの基本課題とこれから」をインフラメンテナンス国民会議副会長・国立大学法人政策研究大学院大学教授 家田仁氏に講演していただいた。</p> <p>また、昨年から会場内の別室で民間団体によるリクルーティングプレゼンテーションも開催した。</p> <p>プレゼンテーション：産学の最新技術や発注者のニーズについてプレゼンテーション形式による技術情報提供</p> <p>技術情報の展示：出展ブース数113社（学会等含む）</p> <p>ポスターセッション：大学等の若手研究者による大学のシーズを公開するポスターセッションも開催</p> <p>地方自治体コーナー：福岡県外佐賀県、宮崎県など10自治体による建設関連の情報提供</p> <p>新技術相談：九州地方整備局企画部、港湾空港部、九州技術事務所、下関港湾空港技術調査事務所による新技術関連の相談窓口も開催</p> <p>九州地方整備局による i-Construction に関する技術相談</p> |
| | <p>(事業実施効果)</p> <p>提供された技術情報数：153件</p> <p>参加組織数：112組織</p> <p>参加大学等：九州大学、福岡大学、佐賀大学、長崎大学、福岡建設専門学校、祐誠高校</p> |
| 6 参加内訳 | 総人数 2,962名 |
| | (1) 主催者参加 61名 |
| | (2) 日本人参加（(1)を除く） 2,893名 |
| | (3) 外国人参加（(1)を除く） 8名 |
| 7 今後の方針 | アンケート結果では今後の継続も望まれており次年度以降も開催する予定 |

日野委員長による開会挨拶



家田 仁 氏による基調講演



講演会場



プレゼンテーション



ブース展示



リクルーティングプレゼンテーション

